

会社名	中日本ハウエイ・メンテナンス名古屋㈱	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料	
作成日	令和6年3月25日		モップ、床面洗浄機、手鏡、ウエス、スポンジ スプレーボトル、ポンプ式スプレー、スクイージー ブラシ、ラバーカップ	ゴム手袋、保護メガネ、マスク	電解水、洗剤(酸性、塩基性、中性、クレンザー)	
改訂日	令和6年10月8日					
作成者	西尾					
必要資格等				作業人員	2~3名	
備考					その他	電解水の製品安全データシート(SDS)を配置

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)			危険有害要因低減対策			誰が			対策後			参考図(写真等)
			可能性	重大性	評価	可能性	重大性	評価	点検・確認	可能性	重大性	評価			
準備工		作業前ミーティング													
	1	新規入場者のチェックをする	現場、施工方法等について十分な知識を有していない	2	2	4	新規入場者教育の受講	全員	1	2	2				
	2	健康状態を確認する	風邪、飲酒等により正常判断が出来ない	2	1	2	体調の確認、アルコールチェックを行う	全員	1	1	1				
	3	朝礼、KYミーティングを行う	漠然と現場に入り事故を起こす	2	1	2	KYミーティングにて危険箇所を確認する	全員	1	1	1				
	4	作業手順の確認をする	各自の作業が分からず、現場で不安全行動を起こす	3	2	6	個人の作業内容、作業手順を確認する	全員	1	2	2				
	5	服装、保安用具の点検をする	破損していると洗剤等により負傷する	2	1	2	始業時に点検を実施する	全員	1	1	1				
	6	道具の点検をする	道具が現場にて稼働しない。	2	1	2	作業前点検を行い、道具の点検をする	全員	1	1	1				
	7	清掃前に「清掃中」標示板を配置	スタッフ同士の衝突や、異性スタッフに対する苦情	3	2	6	作業前に必ず掲示する	全員	1	2	2				
	8	電解水、洗剤の使用	使用時に人体に影響する	2	2	4	保護メガネ、保護マスク、ゴム手袋を着用し換気に注意する 製品安全データシートの確認	全員	1	1	1				
本作業		清掃作業													
	1	清掃箇所の確認する	汚れ箇所を確認していないと作業効率の低下	2	2	4	汚れ状況(手鏡・ブラックライト)確認、施設の損傷箇所の点検	全員	1	2	2				
	2	清掃箇所により清掃具・洗剤を使い分ける	汚れ箇所、汚れの性質により使い分けないと落ちない	2	1	2	手袋・タオル等を箇所別に色分する。強力洗剤は使用しない	全員	1	2	2				
	3	便器・床面を電解水、洗剤ブラシ、モップで清掃する	乾式清掃でないとお客様が滑る可能性がある	2	2	4	電解水、洗剤が飛ばないように注意する(混雑時は避ける)	全員	1	1	1				
	4	床面洗浄機を使用する	機械使用の方が人力よりも効率的になる	2	2	4	床面に黒ズミが発生する前に定期的に床面洗浄を行う	全員	1	1	1				
	5	清掃箇所の清掃終了確認を行う	汚れが残っていると品質低下(臭気発生)となる	2	2	4	拭き残し、水濡れ箇所などを確認する	全員	1	1	1				
	6	ガラス清掃は拭き残しの無いように行う	水垢の汚れが起こる	2	1	2	拭き掃除、からぶき拭き掃除後を確認する(脚立使用の厳禁)	全員	1	2	2				
	7	トイレトペーパー、手洗い石鹸液の補充をする	お客様の苦情のもとになる	2	2	4	お客様へ声掛けをして行なう(石鹸液は希釈倍率を遵守)	全員	1	2	2				
	8	「清掃中」標示板を片付ける	お客様の苦情のもとになる	2	2	4	清掃完了後は速やかに開放する	全員	1	2	2				
片付け		片付け													
	1	使用した道具・洗剤を片付ける	乱雑にしておくで躓き、お客様の通行の邪魔となる	2	2	4	清掃具の点検を行い所定の場所に収納する	全員	1	2	2				
	2	清掃具、洗剤等の在庫確認をする	清掃を行えなくなる	2	1	2	在庫は必要に応じて補充する	全員	1	1	1				
	3	作業記録に記入する	何をしたのか等がないと実績確認がされない	2	1	2	作業日報の記録・保管	全員	1	1	1				
	4	引継ぎ等を口頭または連絡ノートに記入する	何をしたのか等がないと情報共有がされない	2	2	4	引継ぎ事項、連絡事項は確実に伝言する	全員	1	2	2				
緊急時の対応	トイレ内でのお客様長時間使用時の確認方法・対処方法に関する追加手順。						非常LED点滅時(長時間トイレ使用:30分以上)使用時の表示が確認された場合。								
①	トイレ長時間使用のお客様(点滅表示)が確認された場合は、同僚エリアキャストに声を掛け複数人での対応を行う。						※対応時は、慌てる事無く冷静に複数で対応する事をお願いします。 ※対応時間等のメモ書きで構わないので、記録に残してください。								
②	トイレ個室:ドアをノックする際、十分聞こえる大きさのノックを行い、大きな声掛けを行う。						※ドン! ドン! ドン! ※しっかり出入口の扉を叩く。 ※「大丈夫ですか?大丈夫ですか?」2回以上の連続した声掛けを行う。								
③	お客様からの反応が無い場合は、繰り返しノック・声掛けを繰り返す。適当な間隔を開けて実施する。						※ドン! ドン! ドン! ※しっかり出入口の扉を叩く。 ※「大丈夫ですか?大丈夫ですか?」2回以上の連続した声掛けを行う。 ※ 適当な間隔を開けて実施する。								
④	繰り返し声掛け対応するも、利用者さんの反応が無い場合は、自己判断を行わず状況を観察し、施設管理者・雇用会社責任者へ電話連絡を行い、以後の対応指示を受けた後、トイレ内部確認の対応を行う。						※反応が無いからと緊急事態を想定することなく、冷静に確認対応する。 ※指示者からの指示を受けた後に、強制的に扉を開け、内部の状況を確認する。 ※指示命令系統を明確にして、指示者を確認すると共に現場確認を依頼する。								
⑤	思い込みで、緊急事態と考える事無く、十分時間を掛け関係責任者へ情報を提供する。						注意:強制的に扉を開く場合は、「開けますよ!開けますよ!」声掛けを行う。								
⑥	万が一、利用者さんの意識的な状況が確認された場合は、早急に関係機関(施設内関係者及び一宮管制)に非常電話を使用し、状況報告を行うと共に、施設管理者の対応に任せて下さい。						※緊急事態の際は、一宮管制へ非常電話を使用し通報対応を行う。 ※お客様の状況は、自己判断せず一宮管制に落ち着いて伝えて下さい。								
重要	今回の事象の対応策は、緊急対応に関して時間を掛けて対応する事を目的として対策ではなく、事象発生時に適切な対応を求める事を目的とした内容と考えております。 緊急事象発生時など、エリアキャストさん頼みとなる部分に関して、関係者の責任の所在を明確にすると共に、冷静な対応を求めるものと理解ください。														